

心を向け直す 本当に私を活かすものへ

校長 Sr.大山 江理子

学年末の時期を迎えました。春ももうすぐです。

カトリック教会も今、春のイエスのご復活に向けて心を改める季節、四旬節を過ごしています。2月2日に灰の水曜日を祝い、初等科の子どもたちは灰の式に参加して、額に灰をいただきました。神様と共にあるように心を向け直します。方向を変えると何が見えてくるでしょうか。

子どもたちは、けんかや行き違いがあった時には仲直りをして、「ごめんなさい」を言うように導かれます。行き違いの時には、お互いの見ている方角が違います。そこからお互いに見る方向を近づけていったときに、新しい接点が見えてきて、「ごめんなさい」と言うことができるようになります。正直に自分を見つめないと、素直に「ごめんなさい」と言うことはできません。お互いにゆるし合う子どもの素直さは、とても貴重なものです。

しかし、とても残念なことです。大人の世界には「ゆるしがたい」「ゆるせない」という激しい怒りが満ちています。昨年の2月24日に始まったウクライナでの戦争は、多くの人の日常生活を破壊し、家族を引き裂いています。その中で多くの人が敵を「ゆるせない」と感じています。子どもたちの心まで、怒りや憎しみが脅かしていく厳しい現実があります。

NHKのテレビ番組「キーウ 子どもたちの冬」(2月18日放映)の中で、敵をゆるせない、憎しみでいっぱいの少年に向けたウクライナの父母の言葉が心に残りました。父親は戦場で負傷し、病院のベッドからオンラインで息子に話します。父親を心配し、敵への怒りと憎しみを露わにする息子に対して、父は「憎んではいけない」と語りかけ、母も「憎しみはあなたを傷つける」と諭していました。それは諦めでも、忍従でもない、息子を深く思いやる父母の言葉に聞こえました。あなたを本当に活かすものは憎しみではない。それでは、何？

「私から私たちへ」、「共に生きる」ということの意味を、この学年末に子どもたちと共にふりかえります。本当に私たちを活かすものは、小さなあいさつ、小さなありがとう、小さなごめんなさいから始まります。新たな方角を見つめて、みつけます。



〔シスターセキエラをお迎えして〕



ウクライナ募金2023

心ゆも会・SOPIS・横須賀国連協会

中高等科では2月24日にウクライナ支援募金を行いました。

【注文お弁当について】

4月分の注文は、現在の学級名で1つ上がった学年で申し込んでください。

例) 3年ばら組35番 聖心花子 ⇒ 4年ばら組35番 聖心花子

* 5月以降の注文は、正規の学年クラス番号でお申し込みください。

卒業生からのメッセージ ーその生き方、姿からー 副校長 中塩 百合



先週から今年度最後の「つどい」が始まりました。一人一人が一年間を振り返り、新たな目標を胸に次の学年をめざします。聖心では振り返りを大切にしますが、聖心の教育そのものを振り返り教育の意味を実感するのは、卒業後数年経ってからでしょうか。

先日来、数人の卒業生と会う機会がありました。一人は、能楽師として6年生の「能教室」を指導してくれた卒業生です。男性社会である能の世界で女性の能楽師は希少な存在です。同じく卒業生で能楽師のお母様が切り開いた道を真っすぐに進む凛とした姿は、6年生にも眩しく頼もしく見えたことでしょう。また、在学中カナダのハリファックスに1年間留学をし、カナダという国、そして人々の温かさに魅了され、卒業後もカナダの大学に進学した卒業生にも会いました。彼女と交わした会話は短いものでしたが、グローバルな視点を身につけ、自分の思いや考えを明快に表現する姿からは、物事の繋がりを広く深く考える経験を積むことが、次の時代を生きる子どもたちにとって不可欠であると感じます。

100周年に入学し、3クラス制開始と共に1年生となった子どもたちは、今大学3年生です。初等科を訪ねてくれた3人は、それぞれ宇宙工学、法律、ヨーロッパの歴史を研究し、学びを十分に楽しみ夢をもって歩んでいる様子が伝わり、聞いている私まで心が躍るようでした。そして、卒業し外から客観的に聖心の教育を見るようになって、初めてひとつひとつの教育の意味がわかるようになったと話してくれました。大学での様々な価値観をもつ人々との交わりは、最初戸惑いを覚えることも多かったようですが、それを乗り越える力をくれたのは聖心の一人一人を大事にする教育であり、男子学生の中に入っても、今までの多くの体験や深くものごとを思考する力、何事にもチャレンジし自分の力で切り拓き獲得した自信は、自分らしくしなやかに生きる力となっていたと振り返ります。「今だから語れることはいっぱいあります」との言葉に、初等科生にも先輩方の話を聞く機会を模索したいと思います。

春休みにお子さん方と一年を振り返る時、良かったこと、楽しかったことがたくさん思い出されるでしょう。その一方で、残念だったことや悲しかった話もあるかもしれません。しかし、お子さんの成長は全ての経験の中にあります。その経験が、生きていく子どもたちの心の土台を築きます。卒業生たちも、初等科時代には先生方に叱られ、思うようにいかない時期もありましたが、それを乗り越え糧にして成長しています。今までの全ての経験、そしてこれから起きることの中にしっかり意味を見いだせる力を、子どもたちには培っていきます。

初等科を巣立つ6年生への感謝のミサは、5年生が下級生代表として様々な準備をしてくれました。場を共有することで、脈々と受けがれる先輩からの伝統を感じとり、受け継いでくれることを願っています。保護者の皆様には、一年間初等科と共に歩んでくださいましたことを、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



〔児童の作品「絵手紙」〕



〔3月～7月の主な行事予定〕

*現在、最終検討中のために変更することもあります。4月配布の行事予定表で必ず再確認をしてください。

3月

- 1日(水) 感謝のミサ(4限)
- 2日(木) 5限まで授業
- 6日(月) ハイチデー③
- 8日(水) 面接日①・午前授業
泉の会代表幹事会
- 9日(木) 面接日②・午前授業
- 10日(金) 面接日③・午前授業
- 14日(火) 午前授業
- 15日(水) 午前授業・6年生を送る会・大掃除
- 16日(木) 1-5年修了式・1stステージ修了式
- 17日(金) 卒業式

4月

- 7日(金) 前期始業式
- 10日(月) 入学式(2年代表児童以外は休み)
- 11日(火) 午前授業・お弁当開始
- 20日(木) *1～4年合同保護者会・クラス懇談会
- 21日(金) *5・6年合同保護者会・クラス懇談会
(*午後1:30～3:30頃
児童は3限で下校)

- 17日(月)～21日(金) 面談ウィーク
(1年生以外はオンラインで実施予定)

- 28日(金) 1～4年遠足

5月

- 2日(火) 5・6年遠足
- 27日(土) 運動会(3学年ずつ実施予定)

6月

- 2日(金) 私学一日研修のため家庭学習日
- 7日(火)・8日(水)・9日(金)
5年清里校外学習
(2クラスずつ一泊二日で実施予定)
- 14日(水) 一日学校参観日
(1家庭2名ずつ 各2時間で実施予定)
- 24日(土) 保護者講演会(午前)

7月

- 4日(火) 私学半日研修のため午後 家庭学習
- 25日(火)・26日(水)・27日(木)
4年御殿場校外学習
(2クラスまたは1クラスずつ一泊二
日で実施予定)